



こうふ町 議会だより

町勢
世帯数/1,143世帯
人口/3,631人
(平成20年11月1日現在)

町の木



ぶな

町の花



あやめ



あふれる笑顔

高齢者スポーツ大会

平成19年度に使ったお金52億2,140万円……………	2 P
決算特別委員会参考意見……………	8 P
いっぱん質問 町政を問う……………	10 P
私もひと言……………	14 P

歳出総額 52億2,140万円認定

一般会計

31億326万円

特別会計

21億1,814万円

公債費

7億7275万円

構成比率

24.9%

平成20年9月定例会は16日に招集され会期を26日までの11日間として開かれた。
 今回の定例会は平成19年度の一般会計と15の特別会計の決算を決算特別委員会で審議した。
 町長提出議案28件は慎重審議され、すべて原案通り可決した。
 また最終日に江府町議会会議規則の一部改正ほか7議案議員発議し可決した。

一般会計

平成19年度の一般会計は歳入32億2468万円、歳出31億3260万円、赤字決算となった。
 歳入は地方交付税、県支出金が増額となったが、町税、地方譲与税の減額によりマイナスとなった。
 主な歳入は、町税9億894万円、地方交付税12億4163万円、県支出金2億2053万円、財産収入770万円で4億3158万円の減額となった。
 歳出は総務費の大巾減額、消防費、土木費の減額はあるが教育費、衛生費は増額となる。
 費目別内訳は総務費4億1536万円、民生費5億9603万円、衛生費2億9382万円、農林水産業費4億1069万円、土木費1億3426万円、教育費3億3895万円、公債費7億7275万円、消防費7千93万円などです。

特別会計

平成19年度の15特別会計は、歳入総額23億6985万円で前年対比103.24%、歳出は21億1814万円で前年対比105.23%の増額となります。
 主な歳出は国民健康保険(事業勘定)3億7690万円国民健康保険(施設勘定)2億4186万円、老人保健6億5178万円、介護保険(保険事業勘定)4億2561万円、簡易水道1億1539万円、特定環境保全公共下水事業6億987万円などです。

監査委員の審査意見

住民が安心・安全で暮らせ 夢と希望の持てる江府町の実践を

平成19年度の予算執行に当たっては、財政推計に基づき厳しい財政状況を踏まえ、事業の必要性や効果の検討、公共料金の見直し等「小さくても元気で明るい輝きのあるまちづくり」にむけての努力を認めます。今後とも引続き、住民が安心、安全に暮らせ、夢と希望の持てる「江府町」を築くことが重要な使命であります。

少子高齢化が一層進む中、ひとつづくり、保険・医療・福祉の連携による健康対策、雇用の確保、産業の振興、下水道未普及地区の環境整備等の政策課題を着実に推進することが求められます。また、来春小学校統合で江府小学校になります。通学等の利便性、安全性が必要であります。

企業誘致の氷工場グリーンステージの順調な操業、さらにサントリー天然水の操業も始まり、雇用の確保、財源の確保など見込まれるものもあります。しかし、財政面においては一層厳しい状況が予測されます。

今後の行財政運営につきましましては、限られた財源であることが認識された今日において、財政推計などのこまめな情報を積極的に町民に提供して懸念を払拭する必要があります。

また、地方公共団体財政健全化法により指標の公表が平成19年度決算からとなり実質公債費比率と将来負担比率については、健全化基準を下回っている。しかしながら、高い比率であり起債発行額の抑制に努める必要がある。地方分権による「住民参加、選択、創造」の時代を迎え、住民サービス、負担についての考え方を明確に示し、町民と行政がお互いに「自助、互助、扶助」の関係をもち、町民の目線でのまちづくりを進めていただくことを望みます。



審査意見を報告する生田代表監査委員

監査留意事項

① 行財政改革の一層の推進を図られたい。

② 小学校統合により休校となる学校施設の有効利用を検討されたい。

③ 小学校通学を含め、町内バス路線、時間帯等を十分吟味され安心、安全対策をされたい。

④ 旧教育委員会、山村開発センター、日輪閣の今後のあり方について検討されたい。

要望事項

サントリーの進出は、江府町（奥大山）の持つ自然の雄大さなどをコマィシャルから全国に発信されているが、相乗効果をあらゆる面から検討し推進されたい。職員の提案制度を、更に活用されたい。

一般会計

決算の審議

行財政改革は

Q 地方公共団体財政健全化法により指標の公表が19年度決算からとなったが、行財政改革は進んでいるか。

A 町長の報酬20%、議員報酬10%、職員7%カットし、公共料金の見直し等を実施し、執行にあたっては削減に努めた。

情報基盤整備は

Q 遅れている情報基盤整備の取り組みは。

A 情報過疎にならないよう、年度末を目途に情報網の整備に努める。

コミュニティ助成事業は

Q この助成事業の今後は。

A 平成19年度は、美用集落ほか五集落、20年度は一集落が決定。21年度事業は来年2月の予定。

町税未収金徴収は

Q 未収金の滞納者の固定化が進んできている、徴収に万全を期されたい。

A 町税徴収率は、県下でも上位を占めているが、滞納者の納付確約するなど時効中断と徴収に努める。

後期高齢者制度は

Q 制度の内容等説明が不十分で住民に不安が広がっているが。

A マスコミ等で連日報道されているが、親切丁寧な説明に努める。

観光対策は

Q 看板設置など、今後の対応は。

A 観光地、景勝地の観光看板、標識の見直し観光スポットの発掘、観光マップ等検討し、町づくりに努める。

農業公社は

Q 公社の独立採算制と町の農業発展と寄与は。

A 自立運営を図ると共に、地域営農組織等立上げ農業振興と採算性に努める。

小学校統合は

Q 平成21年春、小学校は統合されるが、使われなくなる校舎の利便性は。

A 廃校なり休校舎等の有効利用について、広く町民の意見要望等聴取して活用を決める。



小学校統合後の活用は (明倫小)



コミュニティ助成事業フェンス (美用集落)

中学校教育は

Q 外国語指導、30人学級を実施しているが、今後の対応は。

A 外国青年招致事業なり、少子化に伴い学級数が減少する中、教育の充実向上のため今後とも続ける。

防災情報センターは

Q 利便性のセンターの有効利用は。

A 町民の多くの方々の利用のため、使用時間等周知徹底に努める。

医療予防対策は

Q 新型ウィルス問題等話題になっっているが対策、対応は。

A 早期の情報収集と対応、対策に努める。

Q コミの減量化は可燃ゴミの減量化は。

A 町民にPRし協力を頂き、更に可燃ゴミの再資源化を進め減量化に努める。

「町民の歌」の啓蒙は

Q 町民に広く普及し親しみ、歌って頂く対策は。

A 防災行政無線等を利用して啓蒙、啓発する。

せせらぎ公園(管理棟)は

Q この施設の用途、用途等の方向は。

A 十分協議し活用方法を検討する。

地方行政調査特別委員会の設置について

全員で構成し、県外において10月20日から22日まで調査を行う。

① 大分県日田市での水に関わる商品開発と閉校となった校舎の活用について

② 熊本県御船町のバイオマスタウン構想について

③ 福岡県宗像市での直売所について

常任委員会の所管事務調査について

11月30日までに町内において所管事務の調査を行う。

総務経済常任委員会
行政改革等の進捗状況等を調査する。
教育民生常任委員会
社会福祉協議会、チロルの里特別養護老人ホーム、小・中学校等施設管理運営等の調査を行う。

特別会計 (15会計)**総額 21億1,814万円**

前年対比約5.2%増 (1億533万円)

一般会計、基金より3億3,150万円繰り入れ

・住宅新築資金等貸付事業特別会計	349万円
・国民健康保険 (事業勘定)	3億7,691万円
・国民健康保険 (施設勘定)	2億4,187万円
・老人保健事業	6億5,178万円
・介護保険 (事業勘定)	4億2,562万円
・介護保険 (サービス事業勘定)	121万円
・介護老人保健施設	3,461万円
・笠良原市民農園	53万円
・簡易水道事業	1億1,539万円
・農業集落排水事業	1億9,655万円
・林業集落排水事業	540万円
・特定環境保全公共下水道事業	6,099万円
・江尾財産区	37万円
・神奈川財産区	20万円
・米沢財産区	323万円

特別会計

健康に対して 意識向上

Q 健康に対しての意識の向上と取り組みは。

A 高齢者の方は健康に對して、検診を積極的に受けて健康管理をしています。団塊の世代の皆さんは健康に對する意識が低く、もっと意識を高めることが大切。

ドクター不足

Q 日野病院の医師の退職など、新しい医師の確保は出来たのか。

A 数年前から全国的な医師不足、特に地方の医師不足が進んで、閉鎖に追い込まれている現状があります。鳥取大学病院と連携をもって、対処していかねばならない。日野病院のみならず、江尾診療所も、医師不足の中健康には充分気をつけて頂き、地域医療の充実を図ります。

江尾診療所の医師・歯科の利用状況は。

施設介護と 在宅介護は

Q 介護医療が老健（やめ）特老（チロル）施設とも充実してきましたが、介護の現状は。

A 地域包括支援センターの立ち上げで、介護認定等ケアプランを策定し介護事業を進めていくわけですが、現在在宅介護を利用される方が増えています。

今後、在宅介護が増えていく状況は進んでいくと、家庭は勿論ですが、地域が支える環境整備が必要かとおもいます。また、施設利用についてもデイケア、リハビリ等うまく連携をとって介護事業の充実を図っていきます。

江尾診療所の利用状況

【歯科】

	H18年度	H19年度
診療日数	228日	230日
受診者	4,430人	5,334人
1日平均	38.2人	41.1人

【医科】

	H18年度	H19年度
診療日数	253日	255日
受診者	9,999人	10,403人
1日平均	65.1人	66.7人

江尾診療所の 利用状況は

Q 江尾診療所の医師・歯科の利用状況は。

A 医科・歯科の連携により、地域医療の充実と、町民の健康増進を図っている。

農業集落排水事業の 進捗状況は

Q 現在宮市集落の一部の供用開始がされていますが、今後の進捗状況はどうなっていますか。

A 今年度は宮市集落の工事発注を行い、順次供用開始をしていきます。

状況においては、宮市原集落下までの本管設置をしていき、今後、未整備地区においても進めていきます。

増え続けている 悪徳商法対策は

Q 下水道の清掃、部品交換など頻繁に不当な請求をして来る悪徳にだまされない様対策は。

A 防災無線等で被害に遭わない様、注意を呼びかけていきます。集落の皆さんの不審者に対する注視もお願いしていかねばいけない。



宮市地区農業集落排水工事



利活用が待たれるせせらぎ公園（管理棟）

決算特別委員会

参考意見

一般会計

平成19年度歳入予算額32億1260万円に対して、決算額は32億2246万円であり986万円の増額決算となりました。歳出予算額32億1260万円に対して、決算額は31億326万円、1億934万円の減額決算となった。町長報酬20%カットを始め、議員報酬10%カット、職員の給与7%カットなど、厳しい財政と痛みを分かち合う予算の中、歳出予算執行割合が96・60%で19年度の江府町政を行ってきた。公債費比率、経常収支比率ともほぼ前年度並であったが、地方公共団体財政健全化法により指標の公表が平成19年度決算からとなり、実質公債費比率と将来負担比率については、健全化基準を下回っている。しかしながら、高い比率であり起債発行額の抑制に努めると共に、基金残高も7億円と減少しており、さらなる行財政改革が必要と思われる。

行財政改革の推進は

人件費の大幅なカットを断行し、町長を始め、議会、行政執行部の報酬・給与の減額を図り節約の成果はでている。更に無駄をなくし経費削減に努めなければならない。

情報処理は

情報システムの一元化を図って、事務処理の効率化と住民サービスの向上に努められ、ホームページによる迅速正確な情報提供を行なっているが、地上デジタル放送やブロードバンド対応の調査研究や今後の施策の基礎資料など情報網の整備に努力され、情報過疎にならないようにされたい。

町税未収金徴収は

町税徴収率は、県下でも上位を占めているが、滞納分については、滞納者の固定化が進んできて

小学校統合後は

来春の統合に向けて着々と進んでいるが、廃校なり、休校舎等の有効利用について広く町民の意見要望等を聴取して、早急に方向を決められたい。

中学校教育は

外国語指導等を行なう外国青年招致事業なり、少子化に伴う学級数が減少する中、30人学級を補助と町費で実施していますが、財政は厳しいが今後も江府町教育の充実、向上のために努力されたい。

せせらぎ公園（管理棟）は

広域公園事業で設置した施設、特に管理棟の維持管理等につき、早期に使用、用途を十分検討され、方向を示されたい。

農業公社は

農業公社の自立運営を図ると共に、地域の農業が高齢化により衰退していく傾向があるが、地域活性化のため地域営農組織等を立上げ独立採算制を図られたい。

後期高齢者制度は

4月より後期高齢者医療制度が始まり、マスコミで連日報道され、制度の内容や問題点が知られるにつれて、住民に大きな不安が広がっているが親切丁寧な説明をされたい。

観光対策は

観光地、景勝地の看板が不具合になっっているので、標識の見直し、新しい観光スポットの発掘、観光マップ等検討し、町づくりを努められたい。

いる。納付確約、時効確約をするなど時効中断対策に努め、時効にならないよう徴収に万全を期されたい。

「町民の歌」啓蒙は

CDを作成し、全世帯に配布してあるが、江府町民の歌を広く普及し



「町民の歌」啓蒙用ポスター

親しみ、歌っていたいたくためには、機器の無い世帯、操作できない人等があると思うので防災行政無線を利用し啓蒙、啓発されたい。

特別会計

住宅資金等貸付事業

現在新たな貸し付けはなく、償還のみですが、償還が滞りなく行われる様定期納付・期限内納付の推進に努められたい。

国民健康保険（事業勘定）

国保の高額医療費の国の指定がなくなりましたが、再上昇の兆しがありますが、再上昇の兆しがありそうです。特に60〜70歳までの医療費が上昇している現状をふまえ、特に働き盛りの団塊の世代の方々の健康管理と予防医療を進めて頂きたい。

介護保険サービス事業

介護を受けられる方で、認知証の方が増加傾向に

笠原市民農園

工事のため休館していましたが、指定管理者も決まり行政も連携をとって耕作地の活用も積極的に進められたい。

簡易水道事業

水源の水不足が生じた施設があるようですが、原因の究明と、安心安全な水が供給出来る様整備されたい。

町営水道への積極的な働きかけをされたい。

公共下水道事業

現在接続率87・3%である。今後とも接続の促進に努められたい。

一般質問



堆肥センターの運営と今後の取組について

越峠恵美子

問	環境対策と当面する課題は
答	施設の改修と処理能力を検討

質問 畜産農家にとって環境対策は最も大きな問題です。

特に家畜排せつ物法が制定され、一定規模以上の家畜農家に対し排せつ物の管理施設に管理基準が適用されています。

美用の堆肥センターも適用農家に併設され、一週間掛けて糞乾ハウスで完熟仕上げ工程です。

設計上は処理能力としては充分可能であると思われたにもかかわらず、問題が多いが今後の様に対応されるのか伺う。

町長答弁 環境対策の課題として堆肥を生産する通常の作業工程をしても、施設的に特に冬期間は堆肥の水分が減少しにくい。この為完熟堆肥に仕上がっていない場合もある。屋根部分の改修等、糞乾ハウスの能力が向上するよう検討する。

問	堆肥センターの運営状況は
答	積極的に販売を

質問 13年秋より19年まで右肩上りで販売量は増えているが、質が悪いとの不評がイメージを悪くしている。

堆肥の質としては良質であるし、金額的にも安

問	堆肥の有効活用推進とPR方法は
答	堆肥センターは農業を支える柱

いという事が理解されていないのではないか。JA等とも話をし、堆肥も地産地消にならないか町長の所見を伺う。

町長答弁 製品の完熟度を上げることにより、堆肥の有効活用推進とPRをして、積極的に販売をしたい。価格は町外と比較してもおよそ半額で設定しており、堆肥の品質も上質であるとの検査結果です。

問	堆肥の有効活用推進とPR方法は
答	堆肥センターは農業を支える柱

原料の国際価格が高騰していることが要因とも言われています。そこで、普及所、JAと連携して土壌分析による土壌中の肥料成分の確認を行い、施肥コストの抑制をはかり肥料代を削減する事も今だからこそ、出来る事ではないかと考えます。

堆肥の投入により、堆肥中の肥料成分の活用をはかる事も一つの方法ではないかと思う。

今後、堆肥の有効活用推進をどの様にされるのか伺う。

質問 現在の堆肥センターは問題も山積しているが、施設本体に問題や欠陥があるなら、再度見直しでもされ、その後指定管理者制度による運営委託でもされたらと考えますが町長の考えを伺う。

町長答弁 現在は畜産農家への負担が大きく、将来、条件が整備され、整えば指定管理も検討したい。

10月中には関係者、生産者を含め、組織を立ち上げて検討したい。

問	指定管理者制度による運営委託は
答	条件が整えば指定管理も検討



竹内町政2期目の江府町まちづくりの具体的な取り組みは

川上 富夫

問	5項の公約の具体的な取り組み
答	健全財政を軸に協働のまちづくり

質問 選挙で町民に約束された5つの公約について伺う。

1、持続可能な健全財政の推進。

平成19年度決算は赤字決算ではありませんが、決して良いとはいえませんが、今後の取り組みについて伺う。

2、安全で安心できる小学校統合の実現。

保護者の不安もありますが、跡地利用も含め、今後の方針を伺う。

3、保健、医療、福祉の連携による健康対策。

町民の健康が明るいまちづくりの一番です、対策を伺う。

4、水と緑を活かした協働のまちづくり。

豊かな自然で、2つの企業誘致が進出し、町内の雇用を期待するところです。協働とは何か伺う。

5、町民の皆様により身近な行政推進。

具体的身近な行政について伺う。

江府町の基幹産業であります農業について、どのような施策を伺う。

町民の健康が明るいまちづくりの一番です、対策を伺う。

豊かな自然で、2つの企業誘致が進出し、町内の雇用を期待するところです。協働とは何か伺う。

具体的身近な行政について伺う。

江府町の基幹産業であります農業について、どのような施策を伺う。

平成16年江府町単独で元気で明るいまちづくりを進めるため、財政健全化を図り、平成21年度に償還をすると、将来負担の公債費は減少傾向にある。

町長答弁 1、持続可能な健全財政の推進。

平成16年江府町単独で元気で明るいまちづくりを進めるため、財政健全化を図り、平成21年度に償還をすると、将来負担の公債費は減少傾向にある。

江府町の健康が明るいまちづくりの一番です、対策を伺う。

豊かな自然で、2つの企業誘致が進出し、町内の雇用を期待するところです。協働とは何か伺う。

具体的身近な行政について伺う。

江府町の基幹産業であります農業について、どのような施策を伺う。

平成16年江府町単独で元気で明るいまちづくりを進めるため、財政健全化を図り、平成21年度に償還をすると、将来負担の公債費は減少傾向にある。

町長答弁 1、持続可能な健全財政の推進。

平成16年江府町単独で元気で明るいまちづくりを進めるため、財政健全化を図り、平成21年度に償還をすると、将来負担の公債費は減少傾向にある。



全国に発信された江府町奥大山（サントリーCMより）

財政的には厳しい時期ですが、住民と行政が一体となって、乗り切れば将来の明るい元気な江府町づくりが出来ると思います。

農業施策について、「奥大山」ブランドを生かした農作物の生産と、販売販路の拡充を図り、関西市場を重点に、生産者、行政、JA等それぞれ一緒にあって、取り組む必要があります。将来につながるプロジェクトの立ち上げをして、新農業政策に取り組まねばなりません。

一般質問



江府道路の経過と今後の対応は

森田 智

問	一案、二案の状況と経過は
答	厳しい状況で検討中

質問 延長90kmの高規格道路（江府三次線）が過去に多くの人々の努力により計画され、平成17年に生山道路が開通し同年に江府道路が事業区間となり、総事業費100億円、年20億の工事発注と説明を受けた。

その間一案・二案と計画路線が発表されたが、依然として進まずその内容の経過と、今後町民の方々の意見を聞く考えがあるか伺う。

町長答弁

鳥取、広島両県の方々の英断と努力により実現した地域高規格江府三次線の江府道路開設のため18集落にお願ひし、環境調査実施しその後一案のルートが発表された。一案の佐川・久連・洲河崎・下安井・荒田ルートは平成18年6月調査の結果、実施が難しく、二案の佐川・久連・武庫の右岸のルート変更された。このルートは武庫地内の踏切の解消とトンネル以外の工事が多く地元にも経済波及の可能性もあったが、一部大字武庫地内通るため武庫集落代表者連絡協議会から関係集落、住民総意をもってルート変更の要望書が提出され、県では今後の方策を慎重に検討されており、県の意向に基づき対応して行く。

問	今後の対応は
答	早急にルート決定

質問 今国では道路特定財源も一般財源化と言われており、合わせて公共事業の時効制度の導入が必要ではないか、取り沙汰されているので早期にルートを決定し着工すべきだと思ふ。

今181号に通じる県道上徳山俣野江府線、主要地方道江府岸本線のJRの3カ所の踏切問題は交通安全対策と経済交流の重要課題で有り、大きな夢を持ってルートを変更し米子道との接点、佐川・宮市間にインターチ

町長答弁

江府道路の開通と共に踏切の解消とか色々の方策は必要であるが、基礎的な部分、国道181号の江尾・武庫地内を通過する車輛をバイパス化により危険回避や渋滞解消

エンジを設置し奥大山のアクセスを良くし大山の恵みを十分に受け、地区の活性化につながる事が大切だと思ふが町長の考えを伺う。



着工から8年越しに完成した生山道路

等、合わせて広域の経済交流のため江府道路開通の大原則は進めていかなければならない。今後どのようなルートになるか不明ですがきちんと整備する時期だと思ふ。

今、道路財源の一般財源化がさげばれているのでルート計画が明らかになれば関係集落の方に御協力と御理解をお願いし、早期着工すべきと考えています。

河上議員
越峠議員
上原議員

自治功労者表彰を受賞

平成20年9月4日、河上議員、越峠議員、上原議員の3名が、西部町村議会議長会から自治功労者表彰を受賞されました。町村議会議員として18年以上及び11年以上在職し、議会活動に尽力され、その功績が認められ受賞されました。



上原議員



越峠議員



河上議員

教育委員の任命について同意

教育委員に

宮本師子さん

(俣野)



清水弘美さん

(吉原)



平成20年9月30日で任期満了の江府町教育委員に宮本師子さんを再任、清水弘美さんを任命することに同意しました。

臨時会

固定資産評価委員会委員に岡 壽昭さん(御机)



第6回

8月1日開会

除雪車購入契約の締結、一般会計補正予算の2議案を原案可決し、平成20年8月16日で任期満了の江府町固定資産評価委員会委員に岡壽昭さんを選任することに同意しました。

第7回

8月27日開会

江府町営住宅設置及び管理に関する条例の一部

第9回

10月17日開会

改正、江府町特定公共賃貸住宅設置及び管理に関する条例の一部改正、町営中型バス新車購入契約の締結、ゲレンデ整備機械購入契約の締結の4議案を原案可決した。江府町営バスの管理及び運行に関する条例の制定の1議案を原案可決した。

陳情の審査結果

みなさんから提出のあった陳情を審査した結果、次のとおり決定しました。

件名	審議結果
公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める陳情書	採択
高齢者に負担増と差別医療を強いる後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める陳情	継続審査
大山山麓地区国営造成施設の管理に関する意見書の提出について	採択 内閣総理大臣、農林水産大臣、その他関係機関に意見書を提出し、その実現を要請した。
地方財政の充実・強化を求める陳情	趣旨採択
地域医療を守るための財源確保と人材確保に向けた支援を求める陳情	採択 内閣総理大臣、厚生労働大臣、その他関係機関に意見書を提出し、その実現を要請した。
食料自給率向上、地域農畜産業の確立、稲作、酪農、畜産危機に関する陳情書	採択 内閣総理大臣、農林水産大臣、その他関係機関に意見書を提出し、その実現を要請した。
2009年度国家予算において、教育予算拡充を求める陳情書	採択 財務大臣、文部科学大臣、総務大臣に意見書を提出し、その実現を要請した。

ひとこと



本四 井上 廉女

子どものための 地域づくりをめざして

今年も秋が深まり、町ではいよいよ来春の小学校統合に向けて準備が着々と進められています。バス通学方法の検討や学校現場でのあらゆるすり合わせ等が行われ、保護者へのアンケート結果をもとに、放課後や長期休業中にも安心して過ごせるように子どもプランの検討が重ねられています。

町内の子育て支援の状況も、年を経るごとにさまざま変わってきました。

就園前の親子教室としてスタートしたじゃりんこくらぶは、

子育て支援センターとして保育園の中に一室が設けられ、毎週木曜のふれあいデーには幼い子を持つ親子連れが集い、和やかな憩いの場となっています。

防災情報センターの町立図書館では、絵本を楽しむ親子連れやバス待ちをしながら勉強している学生たちの姿も見られるようになってきました。

また、学校の登下校にあわせて防犯ボランティアによるパトロール活動も行われています。

夏休みには、公民館や明道児童館で子ども講座が、江尾小学校でやんちゃごくらぶが開設され、指導員やボランティアが見守る中、子どもたちの楽しく元気に過ごすにぎやかな声が聞かれました。

一方で、毎週お茶を飲みながら語り合いの子育て不安の解消を図り、「ちろりんまっぶ」で町内の子育て情報を広く提供してきたママネットこうふでは、我が子の成長とともに、メンバー自身それぞれ免許や資格に挑戦したり仕事を始める人がふえ、これまでどおりの活動は困難になってきました。

教育委員の任期を終えた今、皆様にたくさんのご指導とお励ましを頂き大変感謝しております。

今後とも住民の一人として、また主任児童委員として、町の宝物である子どもたちの健やかな成長を見守りながら、子育て支援のさらなる充実と、だれもが笑顔で過ごせる町になることを願っています。

今の日本は政治・経済・社会等のあらゆる面で難題が山積しています。多くの部分で世界と関連していることからその対応はより難しくなっています。各界のリーダーの皆様は、しっかりと舵取りをお願いいたします。

母の一人暮らしはもう無理と判断し、平成17年3月東京から郷里に帰ってきました。安心してせいか急速に病状認知症）が進み、脳梗塞や気管支炎で入院をくり返すうちに嚥下機能が低下し胃ろうを

介護雑感



貝田 遠藤 堅一



行うことになりました。今は寝たきり状態ですが、江尾診療所の定期的な訪問診療・看護を受け、通所サービスを利用しながら自宅にて介護をしています。

介護者の6割は、うつ病になるとのことです。妻は大丈夫かと心配ですが通所サービスを受けている間に出掛けたら、好きなガーデニングや家庭菜園を楽しみ、雄大で清らかな大自然につつまれて、持ち前の明るさを振りまきながら快活な日々を過ごしてくれていることに感謝あるのみです。

生きる上での価値観は人様々ですが、元気で長生きしなければとの思いを益々強くしているこの頃です。

あとがき

▽男（女）ごころと秋の空とか……三日と続かない秋日和の中、とり入れに農家は大忙しの毎日。

安い米価とは言え、実りの秋はうれしいもの。

それにしても、瑞穂の国、日本農業や食糧の安全はどうなるのか。

石破農林水産大臣に寄せる期待は大きい。

▽竹内町長二期目の当選後、はじめての定例会です。

今、定例会は19年度の決算審査であり、厳しい財政運営による決算なので、町民の皆さんにも、関心をもって頂きたいと思いつつ、議会の傍聴者は連日一人のみ。

議場に足を運んで見ませんか。

(越峠)

議会広報調査特別委員会

- 委員長 越峠恵美子
- 副委員長 川上 富夫
- 委員 上原 二郎
- 委員 日野尾 優
- 委員 池田 成弘